

5.25

# 小5、育児の苦労実感

東郷 小 5.25

乳児とその保護者らと触れ合う「赤ちゃんが小学校を訪れ、児童の登校日」が二十一日、

## 教育

ご意見をお寄せください

〒680-8688(住所不要)

新日本海新聞社報道部教育担当

電子メール kyouiku@nnn.co.jp

ファクス 0857(37)0037

湯梨浜町小鹿谷の東郷小で開かれた。児童は、抱っこやおむつ交換を体験して命のぬくもりを感じ取り、これまで育ててくれた親への感謝の気持ちをほぐす。

児童に命の大切さや役立ち感などを学んでもらい、子育て中の親にも児童の姿からわが子の成長をイメージし



赤ちゃんを抱っこしてあやす児童＝21日、鳥取県湯梨浜町の東郷小

てもらおうと、町が鳥取大学医学部の高塚人志准教授を講師に招いている。この日は、生後三カ月から七カ月の乳児

と母親ら十組が訪問し、五年生二十八人と触れ合った。

児童は、ぎこちない手つきながらも赤ちゃんをしっかりと抱きしめ、名前を呼んだりしながらあやし、自然と笑みがこぼれていた。

松田勇太君(二〇)は「おむつを脱がす時、赤ちゃんが足をばたばたさせて大変だった」と子育ての苦労を実感し、参加した山松央央さん(三)は「小さな子

を大切に思う心を持ってほしいのでとても大事な授業」と話していた。

赤ちゃんの登校日は、町内の全小中学校で順次開かれる。